

善光寺バレ―地域センター事業計画

事業費 6,669 千円
(前年度 12,542 千円)

I 産学官交流事業	701 千円
------------------	---------------

地域企業のネットワーク形成と産学官・企業間交流を促進するため、人的交流の場を提供する。

1 善バレ「コラボネット」 [77 千円]

善バレ地域企業における経営者、技術管理者や中堅技術者の交流をすすめ、企業間の技術交流や産学官交流を促進する。また、交流会活動の中で具体的研究開発プロジェクトを創設し、国等の研究開発資金の導入を図り、地域における共同技術開発を支援する。

2 スマートネットワーク交流事業 [77 千円]

スマートネットワークの事業運営を支援するとともに、交流を通じて会員の持つ技術的課題・営業的課題解決へのコーディネートを実施する。

3 善バレミニ学会・長野高専技術交流会 [299 千円]

地域企業における研究開発・産学官連携の意識を高揚するため、長野高専と共同して、地域企業の研究活動・成果を発表する「善バレミニ学会」、並びに、高専教官等の持つ技術シーズのプレゼンテーション、技術相談を行う「技術交流会」を実施する。

4 インターンシップ交流促進事業 [100 千円]

長野高専のインターンシップ事業を支援し、実践的技術者の育成と地域企業への人材供給に資すると共に、地域企業と高専との交流を促進する。

5 公設試験研究機関研究成果普及事業 [148 千円]

地域内にある県工業技術総合センター 材料技術部門、並びに、食品技術部門における研究成果の活用・事業化を支援するため、研究成果の普及発表会を両部門と共同して実施する。

Ⅱ 新産業創出支援事業

3,108 千円

地域企業における新分野創出や新技術創出など地域産業の新たな展開を支援するため、コーディネート活動や新産業分野創出のための研究会の創設・運営支援、並びに研究活動の円滑化に向けた技術の可能性評価的研究資金の提供を行う。

1 コーディネート活動 [1,926 千円]

地域センター内の企業を訪問し、技術開発・商品化・市場開拓等の企業の課題解決や、産学官研究開発グループの創出などに向けたコーディネート活動を、より活発に実施するとともに、当地域センター事業に対する企業ニーズを探り、効果的な事業企画・運営に資する。

なお、平成24年度は、地域の産学官連携・企業間連携をより活発に推進するため非常勤コーディネーター2名体制を継続する。

2 地域産学官共同研究活性化事業（善バレ版 RSP） [500 千円]

地域における産学官研究活動の促進と、コーディネート活動の効果的推進を図るため、地域センターの研究会活動やコーディネート活動により創出された研究開発グループに対し、外部資金導入や事業化に向け可能性評価試験を実施するための資金を支援する。

3 信州先端センサ・システム研究会 [0千円]

製品の安全性や高機能化を支えるセンサは、より高度な機能を求められると共に、その応用範囲は大きく拡大しており、有望な産業分野となっている。

そこで、センサをキーワードとして、地域企業のニーズにマッチした有力なシーズを発し、センサデバイスの実用化を進める研究会を開催して、新産業分野の創出を図るため、信州大学工学部と連携し支援する。

4 農商工連携市場創出研究会 [148 千円]

農業と商工業の連携をキーワードとした地域特産品開発、地産地消型産業の創出を図るため、地域の農産物生産者と食品等加工業、流通・サービス業が協力し、新たな商品開発、市場開拓或いはサービスの創出を推進する会を、長野地方事務所と連携して開催する。

5 からだに優しい食品づくり研究会 [148 千円]

優れた技術力を持つ地域の農業生産者、商工業者等が連携して、県内の地域資源と信州大学等の技術シーズを活用することにより、高齢者・介護食品やプレバ

イオティクス食品などからだに優しい食品の開発から事業化に至る農商工連携を円滑に推進し、もって地域食品の高付加価値化と地域産業の活性化を図る研究会を、長野県食品工業協会と連携して開催する。

6 ニューグリーン製造研究会（新） [162 千円]

国の産業構造ビジョンとして戦略5分野の強化が打ち出されているが、その一つとして「環境・エネルギー課題解決産業」があり、県内の多くの企業も成長分野として、取組みを考えている。

そこで、地域内製造業の取組みを支援、推進するため、本研究会を開催する。

7 地域産業活性化支援事業 [224 千円]

地域で実施する産業活性化に向けた共同研究開発活動、経営革新活動、善光寺平産業フェア等に対し効果的な事業推進に向けた支援を行う。

Ⅲ 共同研究等推進事業	18 千円
--------------------	--------------

地域企業における新分野創出、新技術開発に向けた産学官等による研究開発活動の円滑な推進を支援する。

1 提案公募型等研究開発プロジェクト推進事業 [18 千円]

地域センターにおいて、コーディネート活動や研究会活動等により創出された研究開発プロジェクトに対し、研究に必要な資金の導入を支援すると共に、研究活動の推進、並びに商品化・市場化に向けた支援を行う。

【24年度プロジェクト候補】

- ・セル配向制御のための最新金型技術の実用化開発
(経産省支援策へ応募予定)

地域企業における次代を担うコア技術や新規事業の創出に向けた技術人材の育成を図る。

1 IT・組込み機器産業関連人材養成フォローアップ事業

[1,489 千円]

IT組込み機器産業関連人材養成フォローアップ事業として、技術力高度化・集積を高め、活性化を促進するため(1)、(2)の講座を実施する。

(1) アナログ&センサー応用回路設計講座

制御機構とのインターフェイスとして重要なアナログ&センサー技術について、理論と実習により実践的技術の習得を進め、企業において中心的に制御システム開発を推進するアナログ回路設計技術者を育成する。また、既に購入済みの機材を有効利用する。

(2) 高速・高周波回路&基板設計実践講座

電子機器における高速化・高周波化の中核を担う開発人材を実践的に育成する。単に座学で学ぶだけでなく、実際に基板を設計し、試作評価を行い、ノイズによる誤動作を体験することにより、ノイズを発生しない回路、ノイズの影響を受けにくい回路設計などについて習得する。

2 組込みシステム高度化研究会 (ETロボコン) [160 千円]

IT・組込み機器産業関連人材養成講座における「組込みシステム設計中級講座」の発展形として、この研究会を位置づける。昨年度初出場した、ETロボコンでの入賞を目標に活動を推進し、高性能な組込みソフトウェアの開発力を養成する。

3 Linux の活用・応用講座 [189 千円]

Linuxの組込み機器への応用と、その構築手法について、長野高専と連携して座学及び実機での実習を行い技術者を育成する。

4 応用機械設計研究会 [568 千円]

技術者の設計品質能力を高めるため、長野高専と連携して「設計品質」「故障モード影響解析」「3次元公差解析」等について、講義と実習により実践的な設計技術の研修を行う。

5 **ながの経営品質実践研究会** [166 千円]

日本経営品質賞の理念をベースに、顧客満足度を中心とした企業の経営品質向上を図るための研究会を実施する。本年度は、会員各企業における実践を進めるための課題解決と推進担当者の育成等を支援する。

6 **子供ものづくり科学教室** [150 千円]

子供達の科学離れが進むなか、めっきや駆動装置を使った実際のものづくりの体験を通して「科学する心」の醸成を図る。

V 広報等事業	120 千円
----------------	---------------

当地域センター事業や各種経営情報の提供を行うと共に、地域企業と当センターとの効果的オンライン接点の形成を目指す。

1 **メルマガ「善バレニュース」の配信** [120 千円]

当地域センターのホームページの充実を図ると共に、定期的にメルマガ「善バレニュース」を配信し、センター事業の周知、技術開発助成制度等の制度・政策情報、産学官連携情報等を提供する。